

# 東日本大震災消防殉職者等全国慰霊祭の開催

総務課

去る平成23年11月29日(火)に、財団法人日本消防協会主催、消防庁の後援による、東日本大震災消防殉職者等全国慰霊祭が天皇皇后両陛下の御臨席のもと、日本消防会館ニッショーホールにおいて、厳粛に挙行されました。

ニッショーホール正面に祭壇が設けられ、全国の消防殉職者の霊位が祀られました。今回、新たに239柱の御霊が合祀され、明治初期から今日までに合祀された御霊は合わせて5,654柱となりました。

ここに合祀された御霊は、国民の生命、身体及び財産を守るといふ崇高な消防の使命感と長い伝統の中で培われた郷土愛護の精神に燃え、勇猛果敢に災害に立ち向かい、尊くもその職に殉じられた全国の消防職団員及び消防協力者の方々であり、慰霊祭には、野田佳彦内閣総理大臣をはじめ、横路孝弘衆議院議長、平田健二参議院議長、松崎公昭総務副大臣、久保信保消防庁長官、北村吉男全国消防長会会長や全国の消防殉職者のご遺族、都道府県消防協会関係者など多くの方々も参列されました。

ました。

慰霊祭では、高木繁光日本消防協会会長が全国消防殉職者の名鑑(御霊)を霊位の前に安置する「御霊の奉納」、参列者一同による消防殉職者の御霊に対する黙とうが行われ、次に、御霊に対し、天皇皇后両陛下から御供花が捧げられました。続いて、ご遺族、参列者等の方々から献花が行われた後、社団法人江戸消防記念会会員による鎮魂の歌(木遣り)が披露され、東日本大震災消防殉職者等全国慰霊祭は閉式いたしました。

また、慰霊祭に先立ち、このたびの東日本大震災において、地域住民の生命と財産を守るため、この未曾有の大災害に立ち向かって殉職された消防職団員を悼み、その活動、ご功績を永く後世に伝えるため、震災モニュメントとして、巨大津波と災害現場での様々な活動の様子を表現された東日本大震災鎮魂レリーフ(横3m×縦1m)が、同会館1階北側の壁面に設置され、その除幕式が厳かに執り行われました。



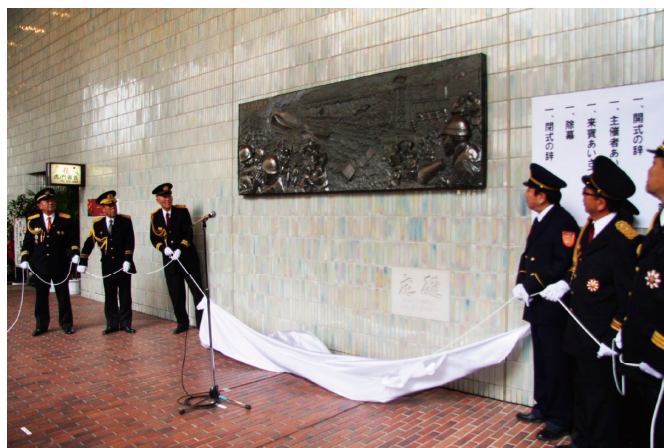
天皇皇后両陛下下御臨席



御霊の奉納



久保消防庁長官：献花



レリーフ除幕式